

心に残る文化財子ども塾 浜田市立国府小学校

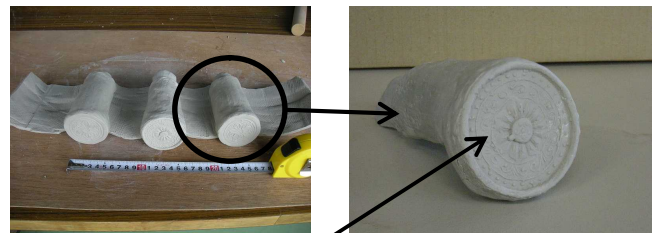
1 活動の概要

7月9日（火）、浜田市立国府小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

担任の先生から、浜田市教育委員会と埋文職員を紹介していただいた後、まず、瓦について勉強しました。古代の瓦は、現代と違い寺院などの特別な建物に使われ、瓦や瓦の葺き方、瓦の作り方も違うことを勉強しました。次に「丸瓦」と「オリジナル瓦当」を作りました。前もって考えた瓦当のデザインの石膏型を作り、粘土を押し当てて、瓦当を作りました。粘土が乾く間、今度は浜田市教育委員会の方から石見国分寺など古代の国府地区の歴史について学習しました。実際に出土した瓦を持って、その大きさや重さを実感し、驚いていました。

最後に、「丸瓦」と「オリジナル瓦当」を接合し、「軒丸瓦」を作りました。苦勞しながら接合し、自分だけの「オリジナル軒丸瓦」が完成しました。

今回の学習を通して、児童のみなさんは、国府地区が古代の石見国の中心であったことを改めて実感してくれたようです。



瓦当です。

軒丸瓦

2 活動の様子

古代の国府・瓦について学ぶ



古代の国府の歴史や石見国分寺について学習しました。



石見国分寺から出土した瓦を持ちました。



瓦作り体験(子ども塾新メニュー!)



オリジナルの瓦当の型を製作中。



型に粘土を押し付け、余分な粘土を切り取るとオリジナルの瓦当が完成。



少し、難しい作業でしたが、みなさん一生懸命、軒丸瓦作りに取り組んでくれました。